

地域再生計画にかかる事業意見シート

◆川島委員

NO	事業名	意見等	担当課回答	担当課
1	サイクリングによる地域活性化事業	<p>・KPIの実績値の計測精度を高める努力が必要です。できることなら、KPIの実績値について、第三者が検証可能な方法として示せないでしょうか。</p> <p>・KPIとそれを実現するための各種事業との関連性の解像度を高める必要があります。両者の関係性がわかるような表現としてください。その上で、それぞれの事業によるKPIへの効果を高めるために必要な具体的な施策の量的・質的水準を明確にし、今後の事業内容に盛り込んでください。</p>	<p>本事業については、土浦市(幹事自治体)・行方市・潮来市・かすみがうら市の4市連携による広域連携事業です。4市がそれぞれ各種サイクリング事業を展開し、参加者や来訪者の数を設定しており、R7までの計画として承認を得ているものです。本事業に限らず、各種事業との関係性を明確にするとともに、KPIへの効果を高めるために必要な施策を、今後の計画等に具体的に盛り込んでいくよう努めます。</p>	観光課
2	つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト	<p>・KPIの計測方法を明示してください。できることなら、KPIの実績値について、第三者が検証可能な方法として示せないでしょうか。</p> <p>・KPIの実績値と目標値との関係が明示的ではありません。P3のスライドにP5のように各年度の目標値を記入してください。</p> <p>・KPIとそれを実現するための各種事業との関連性の解像度を高めてください。その上で、それぞれの事業によるKPIへの効果を高めるために必要な具体的な施策を明確にし、今後の事業内容に盛り込んでください。</p>	<p>KPIの計測方法については以下のとおりです。(25市町村の合計)</p> <p>①県及び連携市町村で把握する移住者数・二地域居住者数 本事業により創出された「関係人口」等が、実際に移住・二地域居住につながった人数。</p> <p>②この事業により創出される関係人口数 本事業により創出される本県内地域と継続的な関わりを持つ人数。</p> <p>③東京圏のフリーランス等による新たな「しごと」の創出件数 「関係人口」と県内地域との継続的な関わりを通じて、新たな事業創出につながった件数。</p> <p>本事業は、茨城県が中心となり計画を策定した事業であり、県内25市町村がコミットしております。R5年度で終了となりましたが、検証結果を踏まえ、ご指摘のようにKPIへの効果を高めるために必要な施策を、今後の計画等に具体的に盛り込んでいくよう努めます。また各年度ごとに目標値を記載しましたのでご確認ください。</p>	地域未来投資推進課
3	かすみがうら市まち・ひと・しごと創生推進計画	<p>・KPIの計測方法を明示してください。できることなら、KPIの実績値について、第三者が検証可能な方法として示せないでしょうか。</p> <p>・KPIの実績値と目標値との関係が明示的ではありません。P9のスライドにP5のように各年度の目標値を記入してください。その上で、目標値と実績値のギャップが生じている原因について考察し、それに基づいてそれぞれのKPIを達成するために必要な施策を立案し、それらの施策をどの程度の量と質で実施することで目標値を達成しようとするのかについて明示してください。</p>	<p>本計画については、企業版ふるさと納税を広く受領できるよう内閣府のガイドラインに基づき、総合戦略と同様の内容が記載された計画としております。企業版ふるさと納税による寄附を活用し、実施した事業のうち、ワーケーションによる参加者(関係人口)をこれまでの実績値となっております。充当先については、企業側の意向もあることから、企業に刺さりやすい事業の選定を意識し、第3期総合戦略の策定に努めて参りたいと考えております。KPIについては、単年度ごとに設定していないことから、計画開始時点と最終年度(R6)との比較となります。</p>	政策経営課
4	わくわく茨城生活実現事業	<p>・KPIの目標値と実績値との関係が明示的ではありません。P7のスライドにP5のように各年度の目標値を記入してください。その上で、目標値と実績値のギャップが生じている原因について考察し、それに基づいてそれぞれのKPIを達成するために必要な施策を立案し、それらの施策をどの程度の量と質で実施することで目標値を達成しようとするのかについて明示してください。できることなら、KPIの実績値について、第三者が検証可能な方法として示せないでしょうか。</p>	<p>本事業は、茨城県が中心となり計画を策定した事業であり、県内38市町村がコミットしている事業で、KPIについては全市町村の合計値となっております。移住者数はじめ、目標達成に向けて順調に推移している状況です。引き続き、検証結果を踏まえ、ご指摘のようにKPIへの効果を高めるために必要な施策を、今後の計画等に具体的に盛り込んでいくよう努めます。また各年度ごとに目標値を記載しましたのでご確認ください。</p>	地域コミュニティ課

地域再生計画にかかる事業意見シート

◆高井委員

NO	事業名	意見等	担当課回答	担当課
1	サイクリングによる地域活性化事業	サイクリングによる地域活性化は、地域資源である霞ヶ浦の地形を活かした周辺市町村が連携できるよい取り組みであり、今後も力を入れて進めるべきものと思料。他の観光施策や商工施策と連携し、相乗効果を高める取り組みや仕掛けを考え、推進してもらいたい。	近年、当市はサイクリングによる地域活性化事業としまして、茨城県や近隣市町村とともにサイクリングを観光誘客の中心事業として進めてまいりました。一方で当事業は地域への誘客の切り口としてのもので、その先の関連施策等とつなげていくことが重要と考えます。ご意見いただいた点を念頭に置きつつ今後の事業に取り組んでまいります。	観光課
2	つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト	テーマ別のワーケーションプロジェクトの実施により、関係人口が増えており、二拠点居住や新規創業、地域おこし協力隊への活動につながるなど、一定の効果が出ていることは評価出来るものと思料。今までの実施によって見えた課題等を活かし、さらなる推進に努めてもらいたい。	ワーケーションに参画する事業者単体の収益に配慮した連携構築が必要であり、これには民間主導によるビジネスとしてプログラムを長期継続できるよう域内事業者等の育成にも努め発展させてまいります。	地域未来投資推進課
3	かすみがうら市まち・ひと・しごと創生推進計画	企業版ふるさと納税の件数(及び金額)が伸びていることは、評価が出来るものと思料。今後も件数(及び金額)を伸ばすよう、取り組みに期待したい。なお、企業版ふるさと納税の人材派遣型については、官民双方にwinwinの取り組みであると考えており、1件でも実績があるよう努めてもらいたい。	企業版ふるさと納税については、マッチングを支援する民間企業と連携し、寄附獲得に鋭意努めているところでございます。人材派遣型についても、チラシ作成のうえ企業側に提案する等、民間人材の活用に向けて進めているところでございます。	政策経営課
4	わくわく茨城生活実現事業	移住施策として大事な取り組みであるが、いかに本事業を知ってもらうか、周知広報が重要となる。今後の方向性として、市広報やホームページ等により事業の周知を図るとあるが、効果等をよく分析し、より一層の周知広報に取り組んでもらいたい。	本事業を活用された多くの方については、市HP等により事業を知り得た上で移住を決めたことを対面相談等により確認しております。本事業は、県事業であり、県内市町村で同事業を展開していることから、当市へ移住を決断された方については、都心への交通アクセスの利便性のほか、自然豊かな地域資源など本市の魅力を多少なりとも感じていただき移住を決断していただいたものと思料します。引き続き、移住検討者に対し本市の魅力が伝わる形での周知活動に努めてまいります。	地域コミュニティ課

地域再生計画にかかる事業意見シート

◆渡辺委員

NO	事業名	意見等	担当課回答	担当課
1	サイクリングによる地域活性化事業	<p>歩崎地区を中心としたサイクルツーリズムの推進については、8年来ご支援申し上げてまいりましたが、サイクリストの消費額が少なく、サイクリング人口が頭打ちという現況を踏まえた施策等の検討が必要と感じます。これも従来から申し上げていることですが、当市の豊富な食資源、広がりつつある古民家泊など、サイクリングも含めたかすみがうら市の観光ブランディングをコンサル依存ではなく、官民あげて進める時期かと考えます。</p>	<p>近年、当市はサイクリングによる地域活性化事業としまして、茨城県や近隣市町村とともにサイクリングを観光誘客の中心事業として進めてまいりました。環境整備も行いつつ令和元年11月にはつくば霞ヶ浦りんりんロードがナショナルサイクルルートとして認定を受け、サイクリストも年々増加しており、当地域への誘客の切り口としてある程度は認知されてきたと感じております。</p> <p>一方で現在の交付金事業のKPIを見てもわかるように、サイクリストの増加が直接当市の地域活性につながっているか、についてはご意見いただいた内容も同感する部分がございます。引き続き、サイクリングは誘客としてのツールとして活用していきますが、その後にお金を落とすいただくためには、ブランディング構築とともに滞在期間の延長を図るべく宿泊機能の誘致などに力を入れていく必要があると考えております。</p>	観光課
2	つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト	<p>従来型ワーケーションのブームは沈静化したように思われますが、体験プログラムや各種セミナー等の展開については、古民家や農業などを起点とした起業家の誘致、市民からの発起などに繋がる可能性は高いと思います。かすみがうら市のアントレプレナープロジェクトとして、発展していけたら素晴らしいですね。</p>	<p>ワーケーションの取り組みによって地域交流や地域課題解決につながる活動が生まれ、関係人口の確保のみならず意欲的な人材の定住にもつなげることができました。行政主導の運用には一定のコストがかかるため、民間主導によるビジネスとしてプログラムを長期継続できるよう域内事業者等の育成にも努め発展させてまいります。</p>	地域未来投資推進課
3	かすみがうらまち・ひと・しごと創生推進計画	<p>「SDGsや新しい技術の取り込み」とありますが、どのようなものを想定しているのでしょうか？</p>	<p>これまで、いただいた企業版ふるさと納税を活用し、環境に配慮したグリーンスローモビリティの運行実証や、霞ヶ浦の魚食文化・風景・古民家宿等、様々な資源を掛け合わせた霞ヶ浦ガストロノミーツーリズムを展開しております。今後ますます進化するテクノロジーを見据え、地域の実情に応じて検証を進めて参ります。</p>	政策経営課